

非売参考書

易しく 深く 面白い

道徳科學習指導案作成

超

× 3 入門

最終版

道徳教育・教育経営

後藤 忠

卷頭言（超×3入門に寄せて）

元号が令和と改元し、これから希望の時代が始まるようなわくわくとした気持ちになります。初春の令月にして 気潔く風和らぎ… そんな時代の到来を心から喜びたいと思いました。

四月からは中学校でも「特別の教科 道徳」（道徳科）が本格始動しました。道徳科はまさに令和とともに始まつたと言つてもよいでしょう。

さて、道徳科がここに至るまでの過程で「新しい道徳」と「でたらめな道徳」とが混同され、恣意的で無意味な授業が蔓延するのではないかと心配した時期もありましたが、今ではそれも杞憂に帰した感があり、正直ホッとしています。

もとより、指導法の工夫・開発は教師の使命であり、善意の意思に委ねられるべきものだと思いつます。単に形式的で固定的な形骸化した指導法に従わなければならない道理などありません。

しかし、だからといって「何でもあり」ではダメです。指導法は道徳科の目標にかなっていることが前提でなければなりません。そうでない指導法のことを「でたらめな指導法」と言うのです。

本書は道徳科の目標にかなつた学習指導案を作るための入門書です。

本書には昭和33年の「道徳の時間」特設以来、多くの困難と闘いながら児童の道徳性の育成を願つて地道に授業研究と授業実践を重ねてこられた先人たちの知恵が結集されています。

初任者にも容易に理解できるように易しく、ベテランも納得するように深く、そして誰もが面白い！と思えるような授業づくりを目指して七回書き直しました。

今回の「道徳科学習指導案作成超×3入門」は特にレッスン⑩「評価」を中心改善しています。

令和元年五月吉日

著者